

第5学年 国語科学習指導案

【研究主題】 夢と志をもち、ともに未来を切り拓く児童の育成
～教育活動全体を通して、「学び合い」を楽しむ児童を育てる～

【研究の仮説】

児童が友達との学び合いの中で「伝えたい」「聞きたい」と思える手だてを講じ、教育活動全体を通して児童の発信・受信力を高め、相手とともに学ぶことの意義を知ること、他と関わりながら主体的に生きようとする気持ちを育むことができるだろう。

1 単元名 対話の練習

教材名 どちらを選びますか（光村図書）

2 単元の目標

- ・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
- ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。
- ・進んで互いの立場を明確にし、めあてに沿って、対話することができる。

3 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	・進んで互いの立場を明確にし、めあてに沿って、対話をしようとしている。
活動に即した具体的な評価規準	①理由を述べたり、質問をしたりする言葉を使って、対話をしている。 ②相手や聞いている友達に納得してもらえるよう理由付けをし、自分の立場のよさを主張するとともに、情報を整理し自分の考えをまとめている。	①自分の立場のよさを主張できる情報を集めて整理し、自分の考えをまとめている。	①自分たちの立場のよさを主張できる情報を進んで集めたり考えたりしている。 ②自分たちの意見を主張したり、相手チームに質問をしたりして、討論し、多面的に物事を捉え、考えを広げている。

4 単元とその指導について

(1) 教材観

対話では、明確な根拠がある事実を示してそれを基に自分の考えをまとめる力が必要である。自分の相手の両方の立場から考える必要があるので、多面的に、より広い視野で考える力を育てることができる。

さらに、対話では、相手の主張を聞き自分の立場との違いなどを捉えて、質問をしたり自分たちの立場の主張をしたりする必要がある。相手の話を聞く力、理解する力も育てていきたい。

(2) 児童観

児童にとって、対話は初めての経験となる。したがって、対話の形式を理解して進めることが必要だが、それだけではなく、二つの立場に分かれ、両方の立場で対話するとより深まる価値についてしっかりと押さえるようにしたい。

研究を深めるための取組として、毎週1回朝の時間にトークタイムを設定し、テーマに沿ってトリオやグループで話し合いをしている。学年当初は、発表したり自分の考えを伝えたりすることに苦手意識をもっている児童が多かったが、毎週経験を積んでいく中で、少しずつ自分の考えなどを話すことに抵抗がなくなってきた。また、友達の意見を肯定的に受け止め、楽しく会話をする様子が見られている。

本単元でもそれらの経験を生かして、自分の立場を主張したり、相手の立場を聞いて質問をしたりしながら、対話を進められるようにしたい。

本単元の学習を通して、互いに受信・発信することで学び合いが深まり、さらに自分の考えを再構築することの楽しさを感じられるようにしたい。

(3) 指導観

小学校学習指導要領国語編には、本単元に関する内容として、第三章第一節 1 (1) エ、B(1) ウC(1) カに位置付けられている。

また、特別活動「学級会」に関連して指導していくものである。

指導にあたり本単元は、2チームに分かれての対話を行っていくが、二つの立場から検討することで対話が深められたり、友達の納得のいく主張を見付けたりすることに価値を置いていきたい。対話の中で、友達の主張や受け答えなどで良いところを見付け、それを全体で共有するようにする。そして、次回に向けて、より良い対話ができるようにしていきたい。

5 研究主題との関連

(1) 目指す児童像

- 自分の考えを、思いを込めて伝えられる児童
- 友達の考えに興味をもって聞ける児童
- 発信したり受信したりしたことから自分の考えを再構築できる児童

高学年の目指す児童像

友達との関わりを通して、自分の考えを深めることに喜びを実感できる児童

(2) 研究主題に迫るための手だて

高学年における手だて

- ① 主体性を意識した学習活動の設定
- ② 必要感、必然感に迫ったゴールの設定
- ③ 自分の思いを伝えたり相手の考えを聞いたりする活動の設定

① 主体性を意識した学習活動の設定

ア 児童の実感を伴う議題

各児童が議題を自分事として捉え、議論をより活性化させることができるように、児童にとって身近な議題を設定する。

イ 少人数と一人一役による話し合い

1チーム3人にすることで、一人一人が必ず発言の機会を得ることができるようにする。進行及び判定の場合にもそれぞれの役割を設定することで、主体的に学習に取り組めるようにする。

② 必要感、必然感に迫ったゴールの設定

対話においては、互いに根拠、理由を明確にして話をする。その際、理由をきちんと示している伝え方、分かりやすい伝え方について振り返りを行う。振り返りを一つの目標とすることで、学習活動に必要感をもたせることができると思う。

③ 自分の思いを伝えたり相手の考えを聞いたりする活動の設定

本單元において、対話の型を知り、話し合いのもち方、進め方を理解し、身に付けるようにしたい。対話の方法を知ること、理解することで、児童が今後話し合いをもつ際の、一つの自信になると考える。

また、賛成や反対の立場に分かれることで、それぞれの主張をはっきりさせることができる。このことにより相違点が明確になり、対話がより活性化すると考える。

更には、司会、判定両方の立場を経験することにより、対話を客観視することができる。他グループの良いところや参考にしたいことが見付けやすくなり、発信・受信の力がより向上すると考える。

6 指導計画（4時間扱い）※下線部は児童が学び合う場面

次	時	○主な学習活動	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
一	1	○学習アンケートの結果を共有する。 ○学習活動の見通しをもち、学習のめあてを立てる。 ・ P 9 6 上段を押さえ、下段の <u>1</u> ~ P 9 7 の <u>4</u> までの流れを確認する。	◇学習アンケートの結果より、受信の大切さを自覚している児童が多いため、発信することの意義について助言する。 ◇話し合いの手順を視覚的に確認できるよう、資料を配布すると共に、第2時以降のために掲示する。
		○学習問題をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">根拠をもって、自分の立場をはっきりさせながら対話しよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">立場をはっきりさせ、二つの立場で、根拠をもって対話をする方法を理解しよう。</div> ○3人組のグループを設定する ○対話の仕方を理解する。 ・ 音声教材を活用し、対話の流れ等について確認する。 ・ <u>気付いたこと、生かせそうなことを話し合い、共有する。</u> ○次回の議題と相手チームを知る。	◇グループ編成については、各児童の日頃の学習状況を踏まえ、意図的に編成する。 (3人×9グループ) ◇編成した3人組で、グループとして生かせるように助言する。また、全体共有する。 [主]ウ① 自分たちの立場のよさを主張できる情報を進んで集めたり考えたりしている。(観察・発言) ◇どちらの立場か、機械的に設定する。
二	2 一組 ・ 本時	○学習の見通しをもち、めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">立場をはっきりさせ、根拠をもって対話しよう。</div> ○対話の仕方を確認する。 ○グループごとに対話の準備をする。 ○ <u>第1回の対話をする。</u> ○進行・進行補佐役は、それぞれのグループのよかった点とその理由を発表する。	◇前時に配布した資料に基づく。 ◇準備に伴い、調べる作業が必要な場合に備え、タブレットパソコンをグループごとに1台ずつ準備しておく。 ◇進行の補助として、進行表を見ても良いこととする。 [主]ウ② 自分たちの意見を主張したり、相手チームに質問をしたりして、討論し、多面的に物事を捉える考えを広げている。(観察) ◇はじめにグループ内で共有し、その後、全体で共有する。

	<p>○学習の振り返りをする。</p> <p>○次回の議題と相手チームを知る。</p>	<p>◇それぞれの立場で振り返る。</p> <p>◇どちらの立場をとるかは、機械的に設定する。</p>
3	<p>○学習の見通しをもち、めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>立場をはっきりさせ、根拠をもって対話をし、二つの立場で考えることのよさを見つけよう。</p> </div> <p>○対話の仕方を確認する。</p> <p>○グループごとに対話の準備をする。</p> <p>○<u>第2回の対話をする。</u></p> <p>○進行・進行補佐役は、それぞれのグループのよかった点とその理由を発表する。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p> <p>○次回の議題と相手チームを知る。</p>	<p>◇前時に配布した資料に基づき、対話を進めるようにする。</p> <p>◇準備に伴い、調べる作業が必要な場合に備え、タブレットパソコンをグループごとに1台ずつ準備しておく。</p> <p>◇進行の補助として、進行表を見ても良いこととする。</p> <p>[知・技]ア① 理由を述べたり、質問をしたりする言葉を使って、対話をしている。(観察)</p> <p>◇はじめにグループ内で共有し、その後、全体で共有する。</p> <p>◇2回の対話から「二つの立場」という視点で振り返る。</p> <p>◇どちらの立場をとるか機械的に設定する。</p>
4 二 組 ・ 本 時	<p>○学習の見通しをもち、めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>立場をはっきりさせて話し合い、二つの立場で考えることのよさについてまとめよう。</p> </div> <p>○対話の仕方を確認する。</p> <p>○グループごとに対話の準備をする。</p> <p>○<u>第3回の対話をする。</u></p>	<p>◇前時に配布した資料に基づき、対話を進めるようにする。</p> <p>◇準備に伴い、調べる作業が必要な場合に備え、タブレットパソコンをグループごとに1台ずつ準備しておく。</p> <p>◇進行に関しては児童が行うようにする。対話が滞るような場合は、児童が考えて進行を進めていけるように声掛けをする。</p> <p>[知・技]ア② 相手や聞いている友達に納得してもらえるよう理由付けをし、自分の立場のよさを主張するとともに、情報を整理し自分の考えをまとめている。(観察)</p>

	<p>○進行・進行補佐役は、それぞれのグループのよかった点とその理由を発表する。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<p>◇はじめにグループ内で共有し、その後、全体で共有する。</p> <p>◇「これからの対話に向けて」という視点から振り返る。</p> <p>[思・判・表]イ①</p> <p>自分の立場のよさを主張できる情報を集めて整理し、自分の考えをまとめている。</p> <p>(観察、ノート)</p>
--	--	--

7 本時の学習（本時 2 / 4）

第 5 学年 1 組 27 名 授業者

(1) 本時の目標

○立場を明確にしながら討論し、多面的に物事を捉えることで、考えを広げることができる。

(2) 本時の評価

自分たちの意見を主張したり、相手チームに質問をしたりして、討論し、多面的に物事を捉え、考えを広げている。

(3) 本時の展開 ※下線部は児童が学び合う場面

時	○主な学習内容 ・考えられる児童の反応	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
1	<p>○今日の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 立場をはっきりさせ、根拠をもって対話しよう。 </div> <p>○対話の仕方を確認する。また、前時の振り返り確認を確認する。</p>	<p>◇前時に配布した資料に基づいて進めていくようにする。進行・判定役が管理する時間配分についても確認する。</p> <p>◇前時に共有した内容を、本時に生かせるように助言する。</p>
5	<p>○グループごとに対話の準備をする。</p> <p>主張の確認 予想される相手からの質問 最後の主張の見通し 役割分担</p>	<p>◇調べる作業が必要な場合に備え、タブレットパソコンをグループごとに 1 台ずつ準備しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ用ワークシート ・各自のノート
20	<p>○第 1 回目の対話をする。</p> <p>議題「」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①進行役が目的、順序を説明する。(1分)</p> <p>②両チームが主張を話す。(4分)</p> <p>③作戦タイム(2分)</p> <p>④質問し合う。(4分)</p> <p>⑤作戦タイム(1分)</p> <p>⑥両チームが最後の主張を話す。(2分)</p> <p>⑦判定役がそれぞれのグループのよかった点とその理由を話す。(2分)</p> <p style="text-align: right;">(16分)</p> </div>	<p>◇支援の必要な場合には、進行の補助として進行表を見ても良いこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場の設定 <div style="text-align: center;"> </div>
36	<p>○進行・進行補佐役は、それぞれのグループのよかった点とその理由を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由を整理して伝えていました。 ・相手チームの理由をよく聞いて、それに関連する質問をしていました。 	<p>◇はじめにグループ内で共有し、その後、全体で共有する。</p> <p>[主] ウ②</p> <p>自分たちの意見を主張したり、相手チームに質問をしたりして、討論し、多面的に物事を捉え、考えを広げている。(観察)</p>

39	<p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話を整理して伝えると、分かりやすいことを知りました。 ・相手チームの理由をよく聞いて質問すると、質問しやすいことが分かりました。 	<p>◇対話を踏まえながら「二つの立場で考えることのよさ」という視点で振り返ると共に、自由な感想も述べるようにする。</p>
44	<p>○次回の議題と相手チームを知る。</p>	

8 板書計画

<p>十一月二十七日(金)</p> <p>どちらを選びますか 第三回</p>	<p>めあて</p> <p>立場をはっきりさせ、根拠をもって対話しよう。</p>	<p>今日の予定</p> <p>① 対 A 判定役 B ② 対 H 判定役 E ③ 対 G 判定役 I</p> <p>前回、分かったこと</p>	<p>議題</p> <p>進行</p> <p>① 進行役より説明 ② 両チームの主張 ③ 作戦タイム ④ 質問タイム ⑤ 作戦タイム ⑥ 両チームの最後の主張 ⑦ 良かったところ(判定役)</p>	<p>・・・</p> <p>今日の学習をふり返って</p>
--	--	--	--	-------------------------------

7 本時の学習（本時4／4）

第5学年2組 27名 授業者

(1) 本時の目標

○立場を明確にしながらか討論し、多面的に物事を捉えるとともに、自分の考えを広げ、まとめることができる。

(2) 本時の評価

相手や聞いている友達に納得してもらえるよう理由付けをし、自分の立場のよさを主張するとともに、情報を整理し自分の考えをまとめている。

(3) 本時の展開 ※下線部は児童が学び合う場面

時	○主な学習内容 ・考えられる児童の反応	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
1	<p>○今日の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 立場をはっきりさせ、根拠をもって話し合い、二つの立場で考えることのよさを見つけよう。 </div> <p>○対話の仕方を確認する。また、前時の振り返り確認する。</p>	<p>◇前時に配布した資料に基づいて進めていくようにする。進行・判定役が管理する時間配分についても確認する。</p> <p>◇第1・2回目の対話での反省点について確認する。</p> <p>◇前時に共有した内容を、本時に生かせるように助言する。</p>
5	<p>○グループごとに対話の準備をする。</p> <p>主張の確認 予想される相手からの質問 最後の主張の見通し 役割分担</p>	<p>◇準備に伴い調べる作業が必要な場合に備え、タブレットPCをグループごとに1台ずつ準備しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ用ワークシート ・各自のノート
20	<p>○第3回目の対話をする。 議題「」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①進行役が目的、順序を説明する。(1分)</p> <p>②両チームが主張を話す。(4分)</p> <p>③作戦タイム(2分)</p> <p>④質問し合う。(4分)</p> <p>⑤作戦タイム(1分)</p> <p>⑥両チームが最後の主張を話す。(2分)</p> <p>⑦判定役がそれぞれのグループのよかった点とその理由を話す。(2分)</p> <p style="text-align: right;">(16分)</p> </div>	<p>◇支援が必要な場合には、進行の補助として進行表を見ても良いこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場の設定 <div style="text-align: center;"> </div>
36	<p>○進行・進行補佐役は、それぞれのグループのよかった点とその理由を発表する。</p>	<p>[知・技] ア②</p> <p>相手や聞いている友達に納得してもらえるよう理由付けをし、自分の立場のよさを主張するとともに、情報を整理し自分の考えをまとめている。(観察)</p> <p>◇はじめにグループ内で共有し、その後、全体で共有する。</p>

39	<ul style="list-style-type: none"> ・相手チームの理由を聞いて、作戦を考えていました。 ・どちらも立場を明確にして話していたので、考えが深まりました。 <p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手チームの理由を聞いて、それについて質問したら、話が深まりました。 ・別々の立場で考えると、考え方がより深まりました。 	<p>◇3回の対話を踏まえながら「二つの立場で考えることのよさ」という視点で振り返ると共に、自由な感想も述べるようにする。</p> <p>[思・判・表] イ①</p> <p>自分の立場のよさを主張できる情報を集めて整理し、自分の考えをまとめている。 (記述、発言)</p>
----	---	--

8 板書計画

十一月二十七日(金)

どちらを選びますか 第三回

めあて
立場をはっきりさせて話し合い、二つの立場で考えることのよさについてまとめよう。

議題

進行

- ① 進行役より説明
- ② 両チームの主張
- ③ 作戦タイム
- ④ 質問タイム
- ⑤ 作戦タイム
- ⑥ 両チームの最後の主張
- ⑦ 良かったところ(判定役)

……

これまでの学びから

……

今日の学習をふり返って